

第1回 湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会 会議録（要旨）

開催日時	令和5年3月30日（水） 14:30～16:30
開催場所	西部地域センター2階 講座室
出席者	（委員）17名 （オブザーバー）4名 （事務局）5名 （受注者）3名
内 容	
1 開会	事務局 司会あいさつ、本協議会設立趣旨の説明、資料確認
2 市長あいさつ	
3 委嘱状交付	代表として滝川博史氏に委嘱状交付
4 委員・オブザーバー及び事務局紹介	紹介、出席状況確認
5 会長選出	滝川委員を会長に選出、会長あいさつ
6 議題	<p>(1) 湖西市の現状と課題</p> <p>事務局：湖西市において、2024年2月末までに「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定を予定している。本協議会は、令和5年度においては計画の策定、計画策定後の令和6年度においては策定した計画の実施状況の確認や進捗管理などの計画の実施に関し必要な協議を行うため、委員の皆様には様々な角度からご意見をいただきたく設置した。</p> <p>配布資料「湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会 第1回協議会資料」について説明。</p> <p>(2) 意見交換</p> <p>遠 藤：家庭部門での施策など、案として色々出されていたが、金融機関に対して期待すべきものがあつたら教えていただきたい。</p> <p>事務局：施策のなかでも申し上げた普及啓発は、金融機関と一緒に連携してやっていく余地があると考えている。他に、例えば融資と支援制度の組合せ等が考えられるため、次回以降ご提案いただきたい。</p> <p>耳 塚：融資面での連携についてはビジネスとしても有難い。また、日頃から個人・事業所ともに足を運んで訪問しているため、情報の啓発活動等は協力させていただきたい。再エネポテンシャルの高い太陽光の導入を進めることで最終的なゴールに近づくとと思うが、どれくらいの規模感でやっていかなくてはならないのかが分からない。ポテンシャルはどういう前提か教えていただきたい。</p> <p>事務局：住宅の屋根面積に対して余裕を持たせたいうえで、それに対して載せることのできる面積を試算している。具体的な部分については今後お示しする。</p> <p>佐原克：ポテンシャルを表す際、「何平米や何坪分の面積に太陽光パネルを敷き詰め</p>

たら湖西市の目標を達成できる」や、「〇〇世帯ある湖西市の屋根に〇〇世帯分載せたら目標達成できる」という表現の方が私たち市民にとってイメージしやすい。

「湖西市に全部アマモが入ったらこのくらい改善できる」といった市民にとって身近なもので表現すると、市民もやる気にもなってくるのではないか。あと、技術革新が大きく飛躍すると、脱炭素の取組も進んでいくのではと考える。

事務局：現在ご提示できる数字を持ち合わせていないため、2回目以降、目標値や相場感等をお示しできたら共有させていただく。

平井：①脱炭素に向けて、今、「緩和と適応」という両輪で進めていくという動きがある中で、「緩和」の方は、地球温暖化対策の実行計画の区域施策編、または事務事業編で推進していくことになるが、「適応」の方は、平成30年6月に制定された気候変動適応法及び気候変動適応計画も考慮に入れて進めていくことが求められるかと思うが、如何か。

②湖西市の環境審議会と、今回立ち上げた推進協議会との連携のあり方をどうしていくのか、今後どのように連携を図っていくのかお伺いしたい。

③今、産業界ではESD要素ということが非常に重要視されている。その中でこの環境政策を進めていく上において民間活力など民間資金の導入というのが不可欠になっている。湖西市でも地域循環共生圏構想を踏まえ、地域資源を活用した脱炭素を進めていき、金融機関の民間投資のあり方を積極的に推進していただけたらありがたいと思っている。

事務局：①適応計画については区域施策編と並行して今後検討したいと考えている。タイムスケジュールについては改めて共有する。

②協議会の後、パブコメを頂いて庁内の推進本部の方から環境審議会に諮問という形でご意見を頂いたものを公表版に反映させたいと考えている。

③金融機関と連携する際、ESGも含めて具現化できるようになったら共有する。

桐生：地方環境事務所は脱炭素先行地域並びに重点加速化事業を主にサポートしており、協議会でそういう議論があればご発言させていただければと思っている。

服部：19ページ「家庭における工場・事業場の・・・」部分の訂正
製造業・業務その他部門・家庭部門・旅客自動車の温室効果ガスを2030、2050年に向けて大幅に削減しなければならないため、この4部門についてはもう少し重点政策的な形で強調してもいいのでは。

静岡県内でも1市しか選定されておらず、ハードルが高くなっている脱炭素先行地域の活用に関して、湖西市が目指す製造業との連携に向けての応援・支援が必須になってくると思う。また、温暖化対策と本来の事業活動とをセットで減らしていく施策があるとよい。

今までと同じような普及啓発ではなく、具体的な行動変容にどう結びついていくか。例えば、ソーラーシェアリングの下を市民農園にし、再エネの事業に参加して普及啓発に繋げたり、地域通貨等を活用し、介護と見守りを再生可能エネルギーに繋げるというような具体的な案が出てくることを期待している。

湖西市特有の項目である「ため池」を活用するために、具体的なポテンシ

ャルのデータが出てくることを期待する。

川 上：財務局としては、啓蒙活動・普及啓発について、ネットワークを活用しながら協力できると思う。
ゼロカーボンを達成することで、住民の暮らしや企業の利益がどのように変わってくるのか説明いただけるとよい。

丸 山：施策で終わらず、実行ベースでどういうお手伝いができるか、どういうご提供ができるか、今後検討に取り組んでいきたいと思っている。

瀧 本：再エネ導入をしていない企業に、こういった補助金の活用等をお知らせしながら一緒にご協力できるかが大事になっていくのではないかと考えている。
サーラエナジーでは、太陽光・EV・V2H を皆様が見ていただけるような施設を今作って開放している。自分事としてなかなか変わっていかないと前には進めないと考えているので、様々な場面でご協力できればと思っている。

榊 原：遠鉄タクシーでは、JapanTaxi といったガスと電気のハイブリッドのタクシーを国の補助金を使いながら 2017 年から積極的に導入し、現在 7 割以上がその車に変わっている。次は環境 EV の観点で補助金が来るのではと想定している。しかし、1 日 200 キロ走るタクシーにとって、充電が丸 1 日かかるというのを考えると導入は難しい。技術革新が大前提。その次に購入補助等のメニューが出てきた折には、ぜひ積極的に取り組んでいきたい。

渥 美：商工会は市役所に近い立ち位置。啓発活動については既に実施している。関心が薄い会員に対して、再度働きかけをしていきたい。

光 原：他の自治体ではどのような議論がされていて、どのような政策がとられているのかベンチマーク的に教えていただければ、湖西市に対しても提案をしやすい。

原 田：事務所の蛍光灯を LED に変え、工場の水銀灯もほぼ LED 化した。あと、ガソリンのフォークリフトを電気に変えた。2016 年から電気の使用量、油の使用量のデータ取りをして、今後の目標値にしていく。

佐原司：エコドライブを徹底している。

トラックも次世代車両化が進んでいるが、大型トラックについてはほとんど販売されておらず、まだまだ開発途中で高額であるため、導入しても物流費が高くなり、最終的に消費者にコストが転嫁される。様々な観点から、大型だと EV よりも水素がよいのではないかというような話も出てきている。

板 倉：太陽光パネルを導入しても売電価格が落ちて、せっかく投資したものが無駄になってしまうことが結構あるのではないかと。

湖西市もかなりの高齢者の町になってきているため、既存の住宅に簡単に設置できる太陽光発電システムの補助を、しっかりと市の方でやっていた

だきたい。

大 倉：消費者からすると”わかりやすく”の一言に尽きる。本当は私たちも行動したいが、日々の暮らしに精一杯で難しい。紙媒体、観覧版、LINEで「わかった、わかった」といえるくらい身近なものであってほしいと思っている。

木 本：難しい単語などがたくさんあって理解が難しいが、このような活動を高校生に知ってもらえるよう、高校生の代表として理解を深めていきたい。

塩 沢：皆さんの意見を聞いて、高校生としてあまり理解できないことが多い。高校生の代表として、理解できない言葉をかみ砕いて、他の高校生に伝えてこういう活動を広げていきたい。

ル ガ：自分ができることとして、省エネなど身近なことに普段から取り組むことが大事だと思う。小さな取り組みでも役立つと思うので、これからそういう行動を積み重ねていきたい。

石 原：皆さんのたくさんのご意見を聞いて、自分は高校生なので理解できる場面があまりなかったが、自分たちもできることから改善して湖西市の地球温暖化を防止していきたいと思う。

7 閉 会

(別紙) 湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会 委員名簿

業種	所属等	職名	氏名	出欠
教育・学術機関	豊橋技術科学大学	副学長 電気・電子情報工学系 教授	滝川 浩史	○
金融	静岡銀行	湖西支店・新居支店長	遠藤 威	○
	遠州信用金庫	湖西支店長	耳塚 和也	○
電力	中部電力株式会社	事業創造本部部長（事業推進担当）	丸山 忠宏	○
ガス	サーラエナジー株式会社	カーボンニュートラル推進部長	瀧本 修	○
公共交通機関 (鉄道・バス・タクシー)	遠鉄タクシー株式会社	常務取締役運行営業部長	榊原 正之	○
農業・ 漁業協同組合	とぴあ浜松農業協同組合	湖西地区支店地区統括部長	北谷 英久	×
	浜名漁業協同組合	代表理事組合長	渥美 敏	×
商工会	湖西市商工会	事務局長代理	二橋 和久	×
	新居町商工会	事務局長	渥美 博之	○
市内事業者 (製造業・物流業)	プライムアースEV エナジー株式会社	経営戦略室 主査 兼 SDGs 企画推進グループ長	光原 好人	○
	有限会社浜名樹研	代表取締役社長	佐原 克哉	○
	株式会社新光製作所	代表取締役社長	原田 高久	○
	株式会社笠子流通	代表取締役社長	佐原 司郎	○
地域住民	市民代表	湖西市自治会連合会会長	板倉 福男	○
	消費者代表	特定非営利活動法人 ママライフバランス 副理事	大倉 昌子	○
	湖西高校	3年生 2年生	木本 和輝 塩澤 陽斗	○
	新居高校	2年生 2年生	ルガ クラレンス 石原 碧	○
オブザーバー				
静岡県	企業脱炭素化支援センター	イノベーション推進部	川島 一貴	×
	地球温暖化防止活動推進センター	ゼネラルマネージャー	服部 乃利子	○
環境省	関東地方環境事務所	地域脱炭素創生室長	増田 大美	○
財務省	東海財務局静岡財務事務所	総務課長	川上 正人	○
湖西市環境審議会	湖西市環境審議会 静岡県環境資源協会	湖西市環境審議会会長 静岡県環境資源協会 専務理事	平井 一之	○